

## Forecast Forex Market

## 【先週の動向】

## 保合相場が継続だが、NZD相場は中央銀行の警告から急落

先週は全体的に保合の相場展開となった。注目された11月の対米証券投資は、予想を若干上回る数字となり、この材料からドルが売られることはなかったが、週末には、1.20ミドルから1.21後半で揉み合いを続けているユーロドルは、ショート・カバー的な買戻しから小高く引けた。一方ドル円は、113円台が底堅い展開も、116円を上抜けることが出来ずに、クロス円の売りに圧迫された。またクロス円は全般的に底堅い展開も、ドルや欧州通貨の売りに上値を拡大できない。特にカレンNZ副首相兼財務相が20日、日本人投資家を対象にNZドル建て債券のリスクを説明したとのことから、NZドルとNZD円相場は急落となったが、一旦引き続き「売り出し債」の買いニーズから、下落は加速しておらず、今後のNZドル相場の行方には注意しなければならない。

## 【先週のレンジ】

通貨ペア	Open	High	Low	Close
ドル円	114.18	115.94	113.79	115.30
ユーロドル	1.2142	1.2175	1.2040	1.2135
ポンドドル	1.7770	1.7795	1.7528	1.7708
ドルスイス	1.2767	1.2892	1.2724	1.2764
ドルカナダ	1.1600	1.1796	1.1514	1.1524
オージードル	0.7550	0.7576	0.7443	0.7480
NZDドル	0.6986	0.7001	0.6765	0.6853
ユーロ円	138.61	140.12	138.46	139.91
ポンド円	200.85	204.46	202.04	204.12
オージー円	86.22	87.08	85.66	86.23
NZD円	79.77	80.37	77.91	78.30
カナダ円	98.40	100.21	97.61	100.03
スイス円	89.44	90.37	89.33	90.33

## 【今週の材料】

1/23 (月) = ウェリントン休場(プロヴィンシャルアニバーサリーの振替え)、(豪) 第4四半期生産者物価指数、(日) 12月企業向けサービス価格指数、1月金融経済月報・全文、(加) 11月小売売上高、(米) 12月景気先行指標総合指数、**ガイトナー**米ニューヨーク連銀総裁が講演(ロンドン)、**オルソン**F R B理事が講演、(ユーロ圏)ユーロ圏財務相非公式会合(ブリュッセル)

1/24 (火) = (日) 11月第3次産業活動指数、**(加) 中銀政策金利発表**、(ユーロ圏)ユーロ圏財務相非公式会合(ブリュッセル)

1/25 (水) = (豪) 第4四半期消費者物価、(日) 日銀金融政策決定会合議事要旨、**(独) 1月IFO景況指数**、**(英) BOE議事録、第4四半期GDP・一次発表**、(米) 12月中古住宅販売件数、週間住宅ローン指数、財務省2年債入札、**オルソン**F R B理事が講演、E I A/A P I原油在庫統計、(その他) 2005年中国GDP、鉱工業生産、消費者物価、投資などの統計発表および記者会見、世界経済フォーラム(29日まで、ダボス)

1/26 (木) = シドニー休場(オーストラリアデー)、**(NZ) RBNZオフィシャル・キャッシュレポート**、(日) 週間対外及び対内証券売買契約等の状況、12月企業向けサービス価格指数、12月通関ベース貿易収支、20年利付国債入札、(米) 週間新規失業保険申請件数、12月耐久財受注、12月の求人広告指数

1/27 (金) = (日) 12月全国消費者物価指数、1月東京都区部消費者物価指数、12月大型小売店販売額・速報、12月小売業販売額・速報、(スイス) 1月KOF先行指数、**(米) 第4四半期GDP**、第4四半期個人消費、12月新築住宅販売件数

## 【今週の注目点】

- ・ **金利政策： カナダ、ニュージーランド**
- ・ **米国の注目材料： 第4四半期GDP**
- ・ **1月31日のFOMCを控えてポジション調整か？**

先週は大きな材料に薄く保合相場となった。こういった保合がいつ崩れるかは不透明だが、今週は31日の米FOMCを前に、材料も薄いことから、引き続き大きくこういったレンジをブレイクできるとは見られず、どちらかというところポジション調整的なドル買い気味の相場展開となるかが注目される。材料的には、米国では、金曜日の米第4四半期GDPの発表が最大の注目だが、その他ではカナダとNZの金融政策決定会合が、最近の波乱を生んだ両通貨ペアをどういう方向へ導くかは注目される。また水曜日にはユーロではIFO景況指数、ポンドではMPC議事録が注目され、最近金利の先高感の出ているスイスでは、金曜日の1月KOF先行指数が注目となる。一方テクニカル的には、短期・中長期にまちまちのサインが出ていることから注意が必要となり、クロス円では、基本的に短期買いの、中長期売りは先週と変わっていないが、先週急落となったNZD円相場の行方は注目しなければならない。

## 【今週のテクニカル分析】

個別では、ドル円はABC下落完了後の113.41と118.17のブレイク待ちの相場だが、サインは比較的是っきりと短期買いの、中長期売りが示されている。ただし現状116円を超えられないことは注目される。ユーロドルは、ほとんど1.20ミドルから1.21ミドルのレンジ相場となったが、短期が下落気味から週末の上昇で反転気味に変わっており、こういったサインが継続するか注目されるが、兎も角現状上値を押さえている1.2185-1.2200抜けが大きな注目となろう。また超えた場合フィボナッチ・リトレースメントからは1.2227 (1.1640-1.2590=61.8%) や1.2415 (1.1640-1.3670=38.2%)、日足の横足からは1.2375-1.2415、1.2590などがポイントとなり、下値は1.2000の下方ブレイクからは、1.1930-35、1.18ミドルのサポートが注目される。またポンドドルは、短期を反転下落気味にして1.7455-60の窓の節目、12月14日の高値1.7811を守っているが、次のこの上下のブレイクが注目される。ドルスイスは、短期が買い気味のサインから、中長期の売りサインは変わらず。9月22日の安値となる1.2660を守っていることから、保合的な相場を継続している。こちらも1.2660と1.2890-1.2920とブレイクが注目となるが、下値は1.26ミドルをしっかりと割れると大きな値下がりリスクとなり、1.2470-1.2530窓を割れると1.2240がターゲットとなる。上値は1.3045-50の窓の下限がブレイク後の注目ポイントとなる。

コモンウェルス通貨では、ドルカナダは、1.1750を上方ブレイクも上昇が加速せず、短期・中長期の曖昧なサインを反転下落気味にしており、今週のRBCの金融政策決定を前に、比較的軟調な動向が想定される。下値は1.1470-80のサポートが注目ポイントとなる。またオージードルは、短期を反転下落に変えて、中長期は買いサインを継続。直近高値と日足レジタンスが重なる0.7600レベルを上抜け出来ず、0.7440から0.7355-60の窓への回帰の可能となる。それからカレンNZ副首相兼財務相の驚きの警告で急落気味となっているNZドルだが、短期・中長期ともサインを反転下落気味にして状況はよくない。特にNZが小国であることを考慮すると、こういった中央銀行の警告を安易に考えない方が良いと思われる。日足の直近最安値圏となる0.6780-00が未だサポートされていることから下落は更に加速していないが、今週RBNZの金利政策決定会合もあって波乱含み。もし金利の据置などを受けて、この位置を割れて更に0.6680を割れるなら大きく相場が崩れるリスクがあるので最大注意となる。

一方クロス円では、NZドルを除いて全て中長期は売りサインで、短期が買いサイン。ユーロ円は、137.11とフィボナッチ・リトレースメントから反転中だが、下値は138.80の節目を守って堅調な形も、上値は140.88のB上昇の位置や日足の窓の下限となる141.15のブレイクが注目される。ポンド円も200.47のフィボナッチ・リトレースメントを守って反発中だが、先週202円処を維持したことから堅調な展開も、204.75-80の戻り高値の上抜けがキーとなる。またオージー円は、85.55-60を奇妙にホールドしながら、上値は87.10-15が超えられずに保合的で、次のこういったブレイク待ちとなるが、日足の形状からは、上値がダブル・トップ気味で、85.55-60を割れると84.50への再トライのリスクとなるので注意が必要。NZドルは、先週の急落も78円処が守られていることから、更に下値を拡大していないが、NZドル同様注意が必要で、直近レンジとなる78.00-80.80の半値となる79円ミドルが超えられずに、この位置を割れると急落リスク。その場合横足の76.30-80や2005年の保合の下限となる75.10-50が視野に入る可能性が示唆される。スイス円は、比較的堅調な流れだが、1月9日の安値97.15と1月5日の高値となる91.11のレンジ・ブレイク待ちだが、このインサイドでは、88.85-90と90.60-65のサポート&レジスタンスのブレイクがファースト・ステップ。また引き続き荒れ相場の続いているカナダ円だが、先週週末急上昇となり、短期が買いサインをはっきりとさせる形。10

0.00-10の節目を超えたことで、下値は98円前後のサポートが維持されれば堅調で、上値は101円にレジスタンス・ライン。これを超えると101.50-70の横足まで回復できるかが注目される。

【今週の予想レンジと戦略】

通貨ペア	予想レンジ	短期戦略	中期戦略
ドル円	114.00-116.50	買い	売り
ユーロドル	1.1950-1.2270	買い	買い
ポンドドル	1.7500-1.7900	買い	買い
ドルスイス	1.2650-1.3050	買い	売り
ドルカナダ	1.1450-1.1800	売り	売り
オージードル	0.7400-0.7600	売り	買い
NZDドル	0.6700-0.6900	売り	売り
ユーロ円	138.00-141.00	買い	売り
ポンド円	201.00-206.00	買い	売り
オージー円	85.00-87.50	買い	売り
NZD円	77.00-80.00	売り	売り
カナダ円	99.00-101.00	買い	売り
スイス円	89.00-91.00	買い	売り

当リポートは投資判断および取引判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものです。実際の投資および取引に関する最終決定は、投資家・投機家ご自身の判断において行われるようお願い致します。なお、筆者としては万全を期しておりますが、最新・正確な情報を常に反映しているものではないことをご承知おき下さい。当リポートのご利用によるいかなる損害も一切補償いたしかねます。また、これらの提供する情報について、筆者の許可なく転用・販売を禁じます。

